



教えてみどり

～データでみる緑区～

MIDORI WARD



MIDORIN

緑区キャラクター「ミドリ」

令和2年度版

はじめに



統計は、過去を振り返り今を知ることにより、行政利用にとどまらず、個人・世帯・地域・事業所など、それぞれの未来について考えるうえでも重要な役割を果たしています。

「教えてみどり～データでみる緑区～」は、人口をはじめ、各種統計調査等の資料を視覚的にわかりやすく御紹介したものです。

これを機に、緑区について関心を深めていただくとともに、統計情報をさらに御活用いただけますと幸いです。

今後とも、緑区政や各種統計調査に御理解と御協力のほどよろしくお願いいたします。

令和3年3月

緑区役所



● 御利用にあたって

▼本書で御紹介している区政情報や統計情報は、以下のウェブサイトからも御覧いただけます。

緑区ウェブサイト (<https://www.city.yokohama.lg.jp/midori/>)

統計情報ポータル (<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/tokei-chosa/portal/>)

▼本書に掲載している地図は「横浜市建築局町丁目白地図・18区白地図（地図情報レベル 2500）」により作成しています。

▼構成比等は端数を四捨五入しているため、総計と一致しない場合があります。

● 用語の解説

▼推計人口・世帯

直近の国勢調査の結果をもとに、毎月の出生・死亡・転入・転出等を加減し算出したものです。住民基本台帳の登録とは関係なく、実際に住んでいる人・世帯を対象としています。

▼国勢調査

日本に住むすべての人と世帯を対象とする最も大規模かつ基本となる統計調査です。5年ごとに10月1日を基準日として実施します。

▼経済センサス・活動調査

（一部事業所を除く）日本国内に所在する全ての事業所を対象とする統計調査です。5年ごとに6月1日を基準日として実施します。

▼住宅・土地統計調査

調査区域内から抽出した住宅等及び居住世帯を対象とする統計調査です。5年ごとに10月1日を基準日として実施します。調査区域は全国の国勢調査調査区から総務大臣の指定により決定されます。

※集計結果は推計値であり、標本調査による誤差を含んでいます。

▼農林業センサス

全国の農業集落を対象とする統計調査です。5年ごとに2月1日を基準日として実施します。



目次



緑区について	02
主な指標	04
人口・世帯	
人口の推移と動き	06
年代別人口割合	08
現住居での居住期間別人口割合	09
外国人人口	09
世帯数の推移と構成	10
町丁別人口・世帯	12
事業所	14
土地	15
住宅	16
労働	17
交通	18
選挙	20

統計調査に従事いただける方を募集しています





緑区について

緑区のおゆみ

昭和 44 年に港北区から分区し誕生した緑区は、平成 6 年の行政区再編成により現在の区域となり、令和元年に区制 50 周年を迎えました。

一般公募の中から決定した区名には、「緑を美しく保存したい」という願いが込められており、地域・行政の協働により、区域に溢れる自然や景観の保全が図られています。

年表

昭和 14 年 4 月	発足当時の緑区にあたる都筑郡の1町4村(川和町・山内村・中里村・田奈村・新治村)が横浜市に編入され、新設された港北区の一部となる
昭和 44 年 10 月	港北区から分区し緑区誕生 川和町の区庁舎で業務を開始 ※区域面積：76.09 km ²
昭和 47 年 4 月	区庁舎を現在地(寺山町 118 番地)に移転
平成 6 年 11 月	行政区再編成の実施により現在の緑区誕生 ※区域面積：25.42 km ²
令和 元年 10 月	区制 50 周年

※資料：『横浜市統計書 第1章 第2表』



● 区のシンボルマーク

平成元年に制定した区のシンボルマークは、緑の木々のイメージを、MIDORIのMの形を抽象化して表現しています。



● 緑区キャラクター

平成 20 年 10 月生まれ。葉っぱをモチーフに、服には区の木「カエデ」、ほっぺには区の花「シラン」をデザインしています。

緑がいっぱい

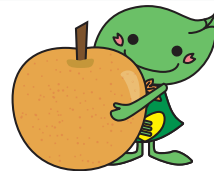
緑区最大の魅力は、区名のとおり緑が豊かなこと。総面積に対する緑被率は 40.6%※と、横浜市内の行政区で1位となっています。



※資料：『横浜市統計書 第15章 第5表(1)』令和元年度調査結果。

農業が盛ん

緑区では様々な作物が栽培されており、「稲・果樹類・各種野菜」の農家数が横浜市内の行政区で1位※となっています。

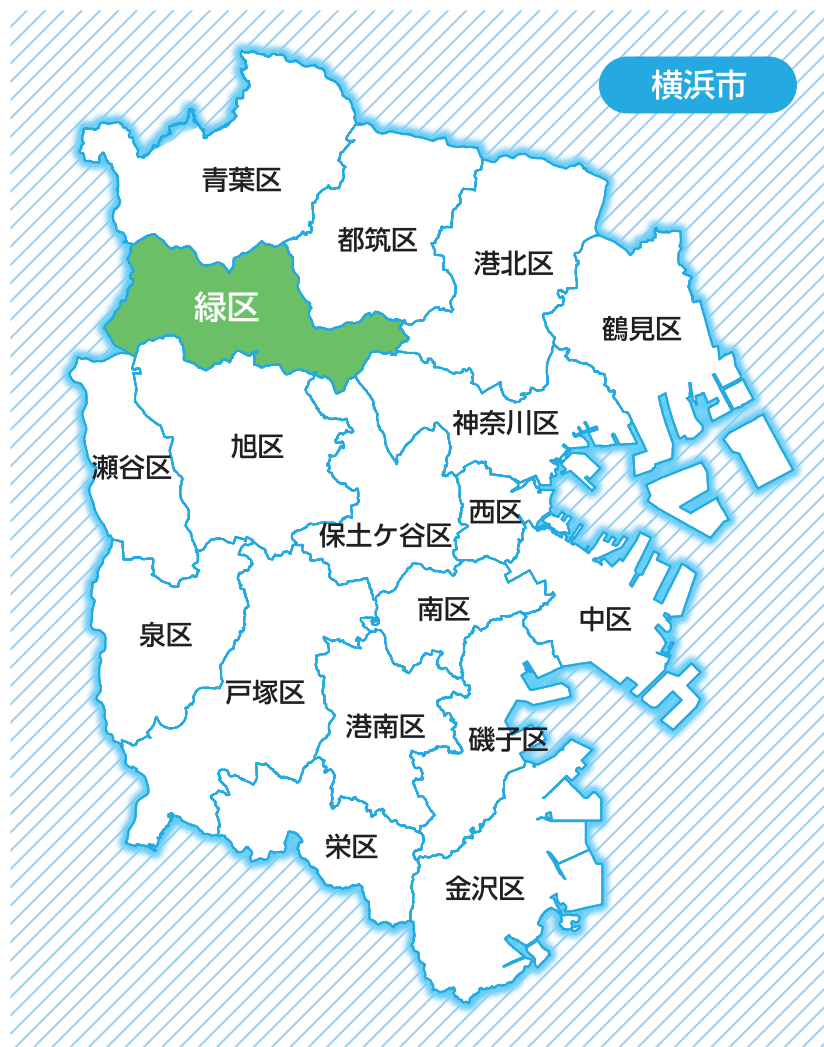


※資料：『2015年農林業センサス 統計表 第18-1・20表』

多文化共生の推進

緑区では近年、外国人人口が大きく伸びており、多文化共生に向けた環境づくりの重要性が一層増しています。このような状況において、令和3年3月、外国人支援の具体的な取組として、中山駅北口に国際交流ラウンジがオープンしました。同施設では、多言語による相談・情報提供のほか、日本語教室や外国人児童への学習支援、日本人との交流活動等の拠点となっています。





横浜市

区名	面積 (km ²)
鶴見区	32.38
神奈川区	23.59
西区	6.98
中区	21.35
南区	12.63
港南区	19.86
保土ヶ谷区	21.81
旭区	32.78
磯子区	19.02
金沢区	30.68
港北区	31.37
緑区	25.42
青葉区	35.06
都筑区	27.88
戸塚区	35.70
栄区	18.55
泉区	23.56
瀬谷区	17.11
横浜市全体	435.71

※資料：『横浜市統計書 第1章 第2表』（令和3年1月25日現在）



緑区

主な指標

	指 標	緑区	横浜市	18区中 の順位	基準日等
人口・世帯	人口(人) ＜横浜市統計書＞	182,899	3,757,630	12	R02.09.01
	15歳未満の人口割合(%) ＜横浜市統計書＞	12.75	11.92	3	R02.01.01
	15～64歳の人口割合(%) ＜横浜市統計書＞	62.35	62.88	9	R02.01.01
	65歳以上の人口割合(%) ＜横浜市統計書＞	24.43	24.60	11	R02.01.01
	平均年齢(歳) ＜横浜市統計書＞	45.63	46.05	12	R02.01.01
	男性の平均寿命(年) ＜横浜市統計書＞	82.20	81.50	3	H27
	女性の平均寿命(年) ＜横浜市統計書＞	88.10	87.30	3	H27
	【社会増減】区外転出・転入等(人) ＜横浜市統計書＞	772	13,481	8	R02.01.01～ R02.12.31
	【自然増減】出生・死亡(人) ＜横浜市統計書＞	-202	-8,203	6	R02.01.01～ R02.12.31
	人口密度(人/km ²) ＜横浜市人口ニュース＞	7,195	8,628	13	R02.09.01
	外国人人口(人) ＜統計情報ポータル:外国人の人口＞	4,350	105,287	11	R02.03.31
	外国人人口増減率(%) ＜統計情報ポータル:外国人の人口＞	11.17	6.61	3	R02.03.31 (前年比)
	世帯数(世帯) ＜横浜市人口ニュース＞	78,981	1,731,071	13	R02.09.01
	1世帯あたり人員(人) ＜横浜市人口ニュース＞	2.32	2.17	6	R02.09.01

※「18区中の順位」は、横浜市内18行政区の各データを、数値の大きい順に参照した場合の緑区の順位です。



	指標	緑区	横浜市	18区中の順位	基準日等
事業所	事業所数(事業所) <経済センサスー活動調査>	3,729	114,930	15	H28.06.01
	従業者数(人) <経済センサスー活動調査>	45,064	1,475,974	14	H28.06.01
土地	区域面積(km ²) <横浜市統計書>	25.42	435.71	8	R03.01.25
	市街化調整区域割合(%) <横浜市統計書>	40.2	22.7	2	R02.03.31
	住宅地平均価格(円/㎡) <横浜市統計書>	216,200	231,600	9	R02.01.01
	緑被率(%) <横浜市統計書>	40.6	27.8	1	R元年度
住宅	住宅数(戸) <住宅・土地統計調査>	82,980	1,835,800	13	H30.10.01
	空き家率(%) <住宅・土地統計調査>	7.79	9.71	16	H30.10.01
労働	就業者数(人) <国勢調査>	82,590	1,673,913	12	H27.10.01
	外国人就業者数(人) <国勢調査>	1,051	25,327	11	H27.10.01
交通	昼夜間人口比率(%) <国勢調査>	81.28	91.71	12	H27.10.01
	【流出人口】区外への就業・通学者(人) <国勢調査>	65,175	-	10	H27.10.01
	【流入人口】区外からの就業・通学者(人) <国勢調査>	31,417	-	11	H27.10.01
選挙	令和元年参議院議員通常選挙投票率(%) <横浜市統計書>	49.55	49.70	9	R元.07.21

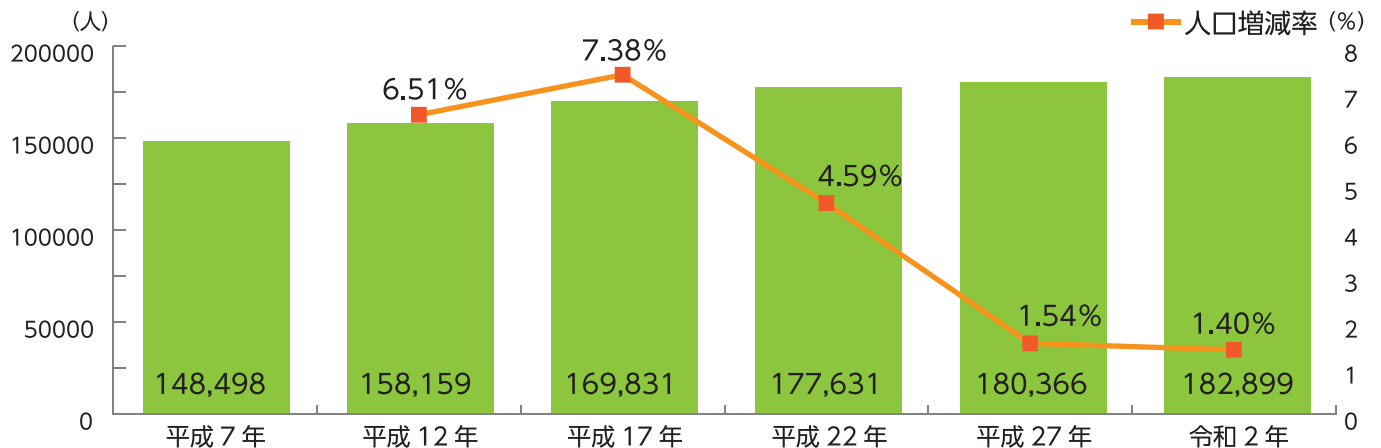


人口・世帯

人口の推移と動き

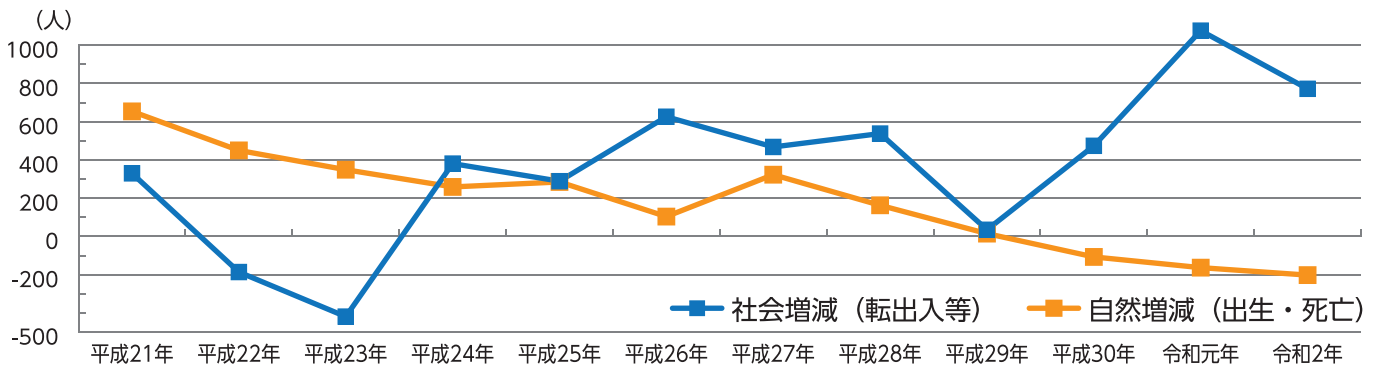
緑区の人口は現在まで増え続けていますが、平成17年以降、増加傾向が鈍化しています。人口の動きとしては、平成30年以降、自然増減がマイナスに転じており、死亡者数が出生者数を上回っています。

● 人口の推移



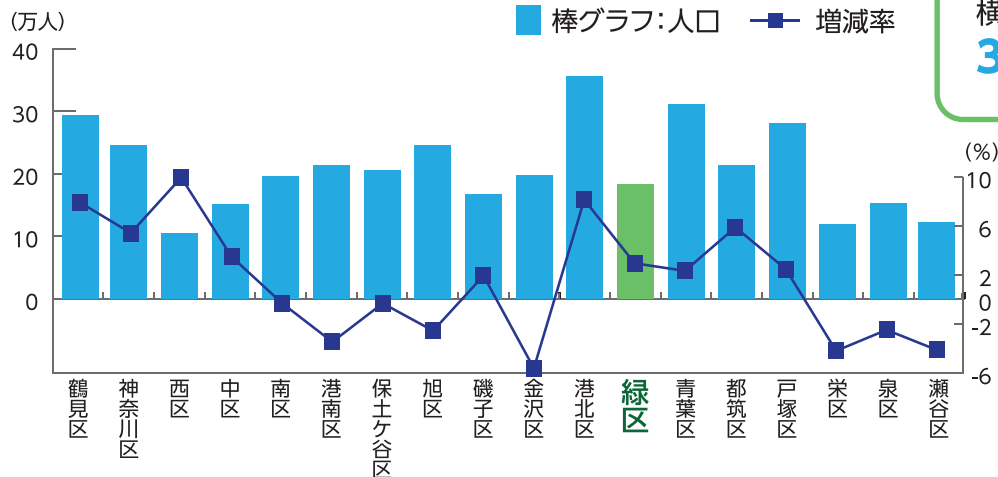
資料：『横浜市統計書第2章第1・4表』
各年の国勢調査結果（10月1日現在）。ただし、令和2年は9月1日現在の推計値。

● 人口の動き



資料：『横浜市統計書第2章第8表』
住民基本台帳による各年の集計値。

● 横浜市内各行政区との比較



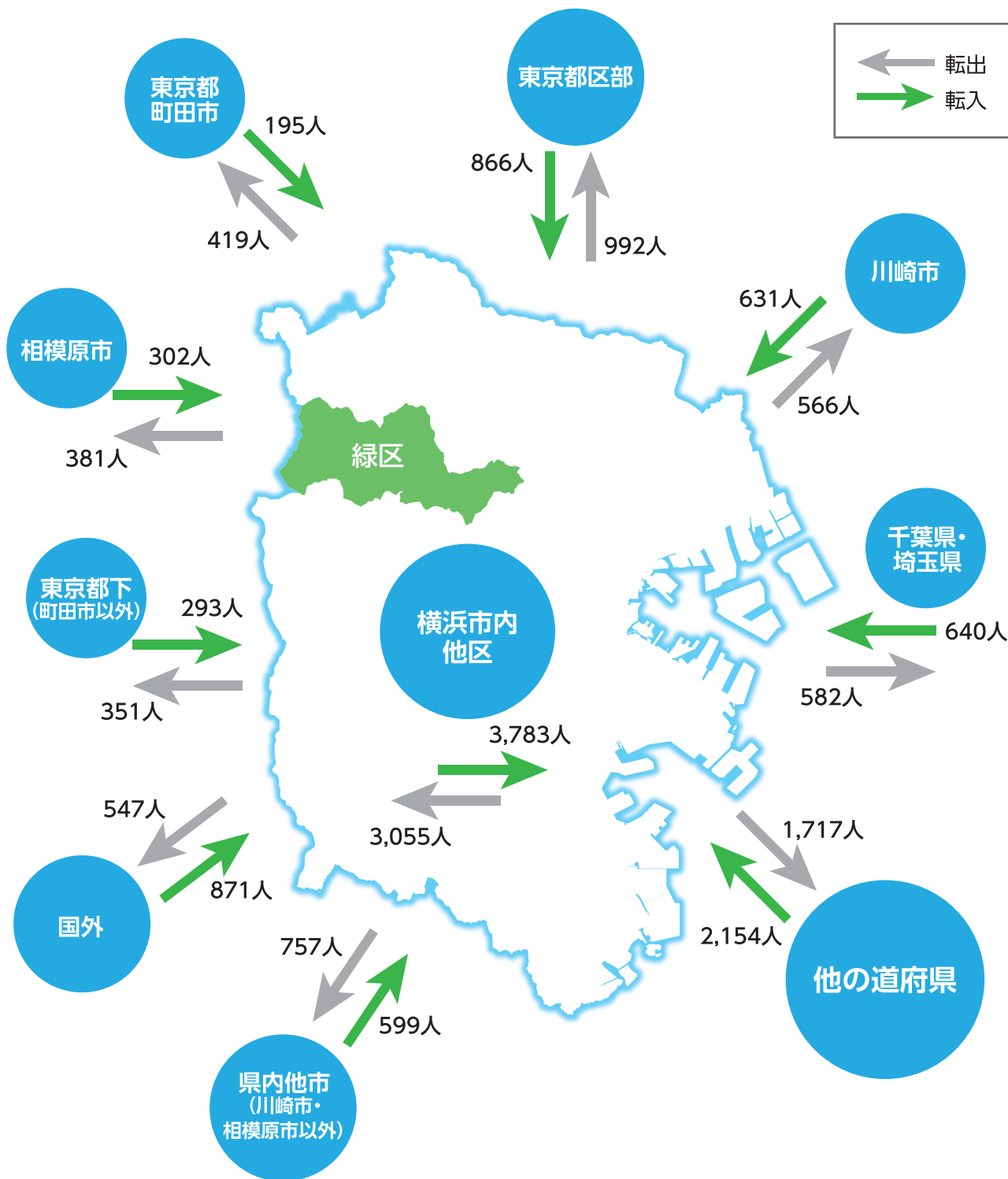
横浜市の総人口は
3,757,630人だよ！
(令和2年9月1日現在)



資料：『横浜市統計書第2章第4表』
令和2年9月1日現在の推計値。増減率は平成22年国勢調査結果（10月1日現在）との比較。

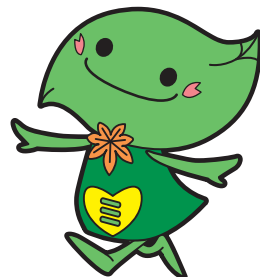
● 転出・転入の状況

転出・転入ともに、約3割が横浜市内での異動となっています。その他、県内では川崎市・相模原市、県外では東京都区部・東京都町田市・千葉県・埼玉県が主な転出入の内訳となっています。また、国外異動者は全体の約7%を占めています。



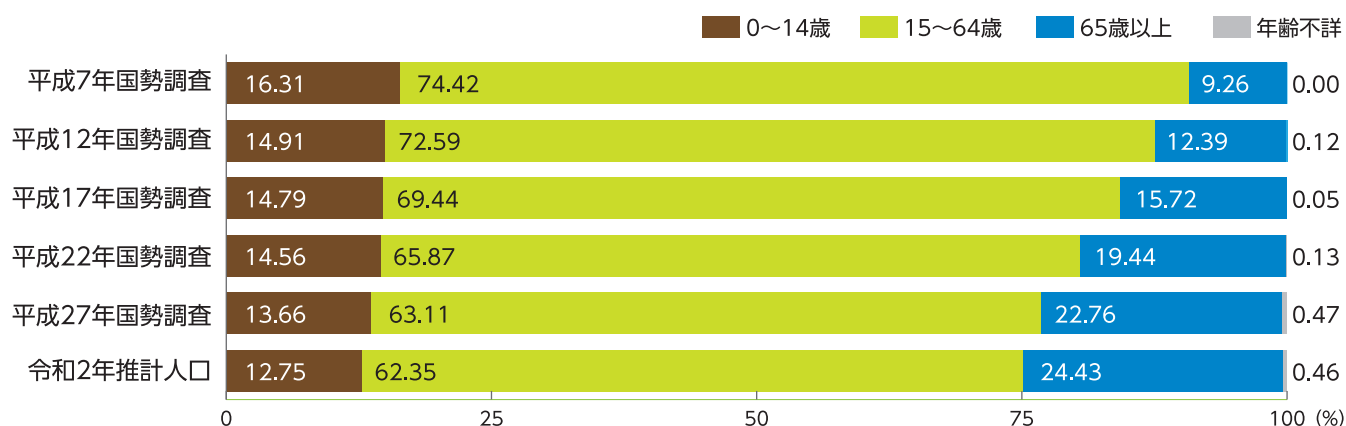
資料：『統計情報ポータル 令和元年中の人口動態と令和2年1月1日現在の年齢別人口 第14・15表』住民基本台帳による令和元年中の集計値。

転出者数は **9,367人** / 転入者数は **10,348人** でした。
 (令和元年中。転入者には異動前の住所地不明者を含む。)



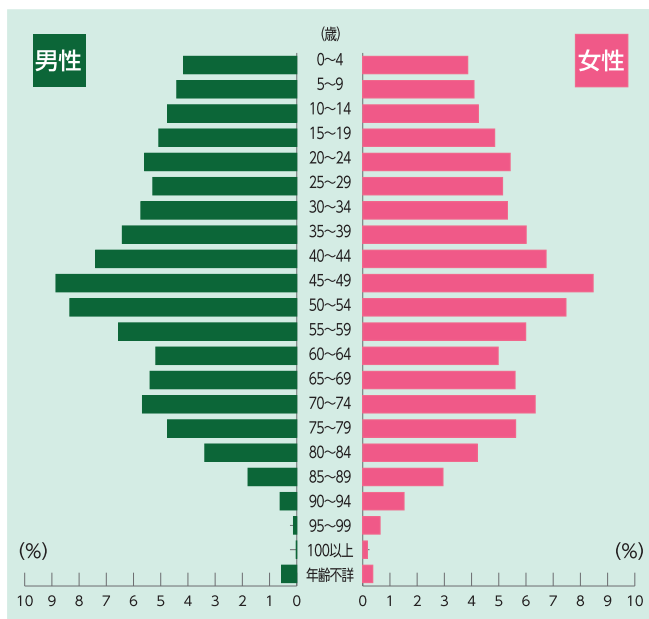
年代別人口割合

平成7年以降の25年間で、65歳以上の人口割合が約2.6倍に増えており、近年では全体の約1/4を占めています。5歳階級の年代別人口では、緑区・横浜市ともに45～49歳が最も多くなっています。

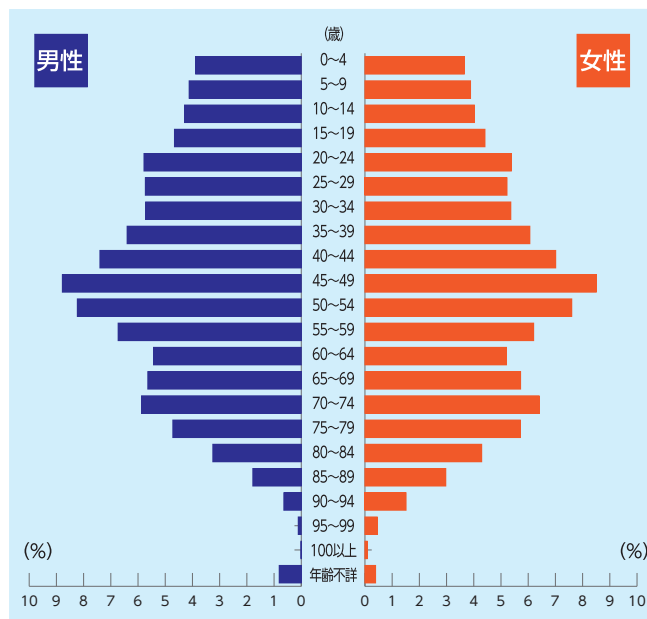


資料：『統計情報ポータル 長期時系列データ 第5表』
各年の国勢調査結果（10月1日現在）。ただし、令和2年は1月1日現在の推計値。

緑区 令和2年推計人口（1/1 現在）



横浜市 令和2年推計人口（1/1 現在）



資料：『横浜市統計書第2章第5表』

緑区の平均年齢は **男性 44.32歳、女性 46.90歳**

横浜市の平均年齢は **男性 44.81歳、女性 47.28歳**

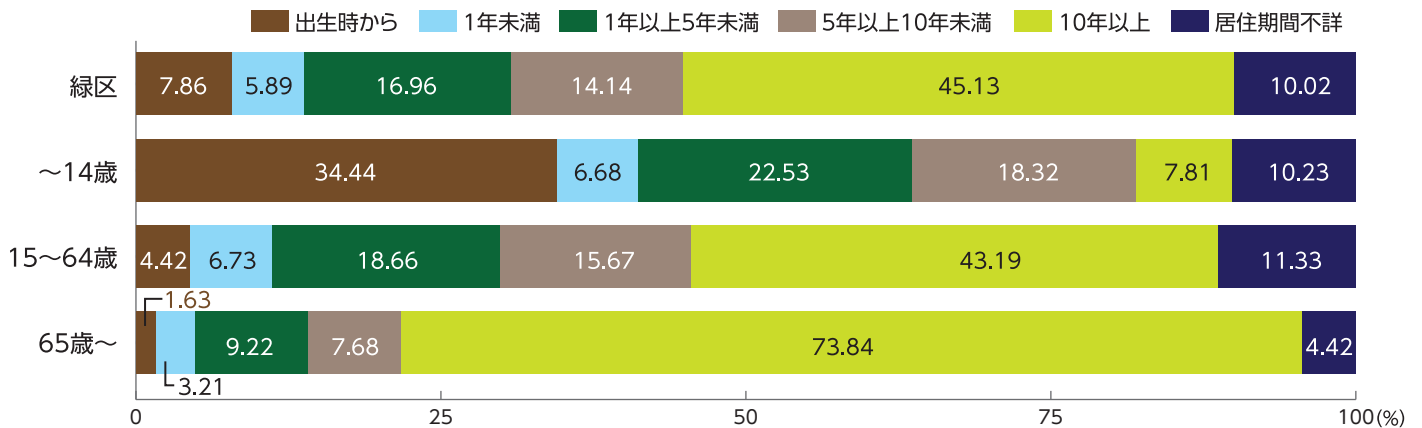
でした。

（令和2年1月1日現在）



現住居での居住期間別人口割合

現住居に10年以上居住している方は、緑区全体でおよそ半数を占めており、65歳以上では7割を超えています。一方で、居住期間が1年未満の方は各年代を通して5%程度となっています。

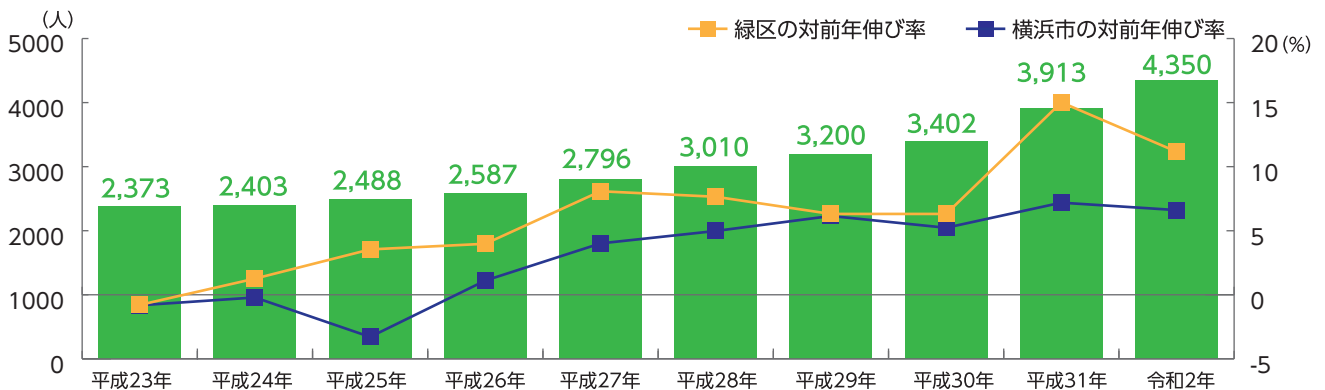


資料：『平成27年国勢調査 世帯構造等基本集計結果 第1表』
平成27年10月1日現在。

外国人人口

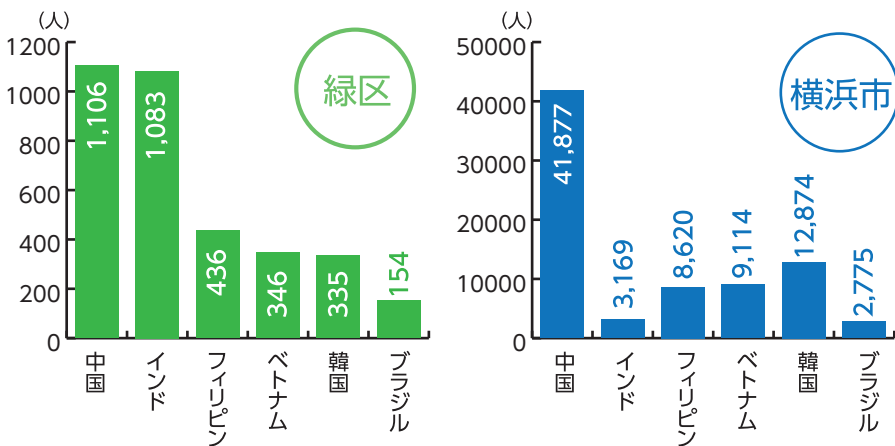
緑区の外国人人口は年々増えており、近年では、増加率が横浜市全体を大きく上回っています。また、国籍別ではインドが中国に次いで多く、横浜市全体の約3割を占めています。

外国人人口の推移



資料：『統計情報ポータル 長期時系列データ 第18表』
各年3月31日現在の住民基本台帳による集計値。ただし、平成24年以前は外国人登録法による登録人口

主な国籍別外国人人口



資料：『横浜市統計情報ポータル 外国人の人口』
令和2年3月31日現在の住民基本台帳による集計値。

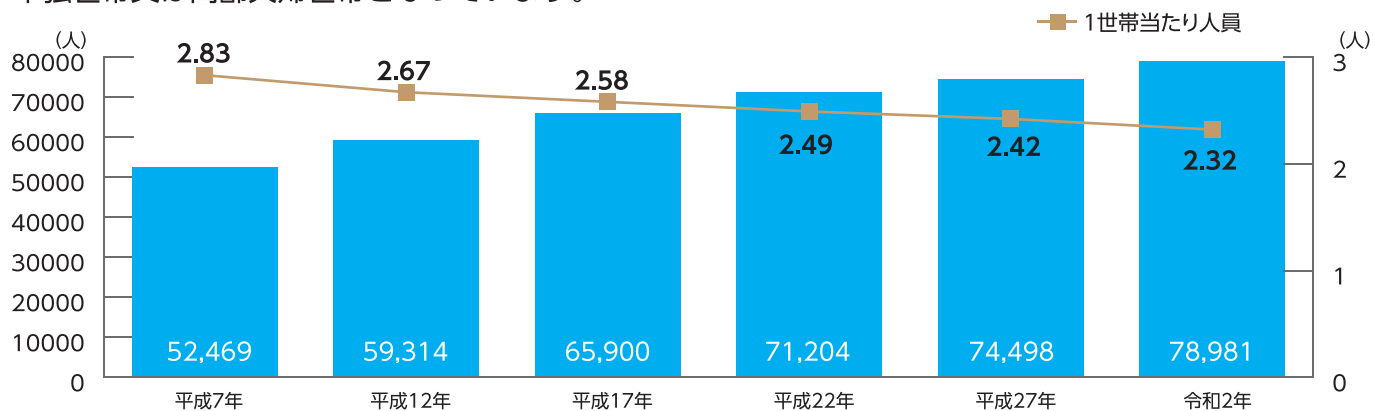
令和元年の
対前年増減率は **市内1位**
令和2年の
対前年増減率は **市内3位**
でした。
(3月31日現在での比較)



世帯数の推移と構成

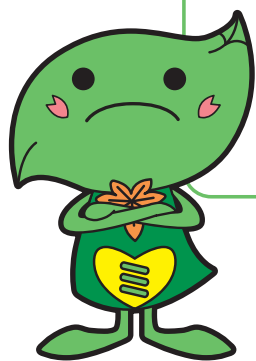
世帯数の推移

緑区では、世帯数が年々増加しているのに対し、1世帯当たり人員は減少傾向にあり、単独世帯が全体の約3割を占めています。また、65歳以上世帯員のいる世帯は3割を超えており、そのうち約6割が単独世帯又は高齢夫婦世帯となっています。

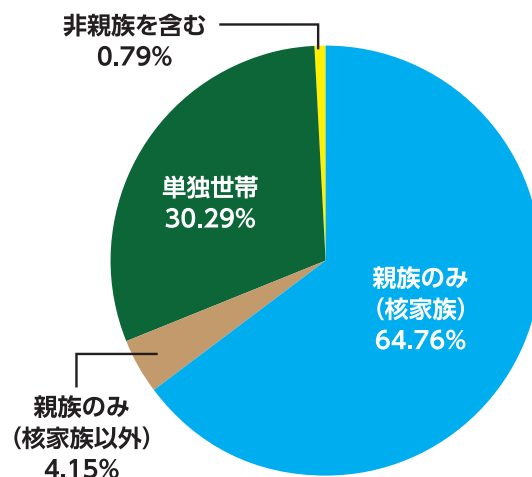


資料：『平成27年国勢調査 横浜市結果報告書 統計表 第35-2表』『横浜市人口ニュース』各年の国勢調査結果（10月1日現在）。ただし、令和2年は1月1日現在の推計値。

家族類型別世帯構成割合

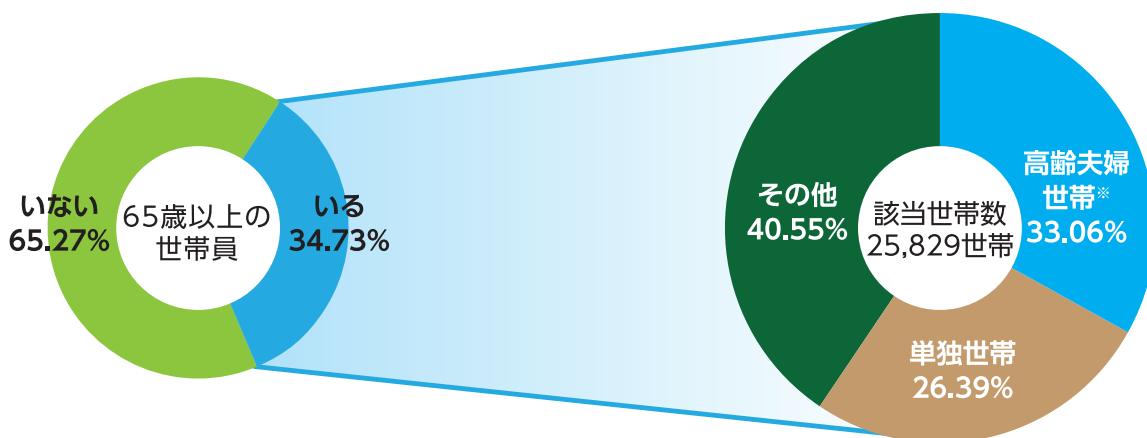


単独世帯のうち
**約3割が
65歳以上の方**
なんです。
(平成27年10月1日現在)



資料：『平成27年国勢調査 世帯構造等基本集計結果 第3表』平成27年10月1日現在。家族類型不詳の世帯及び施設等の世帯を除く。

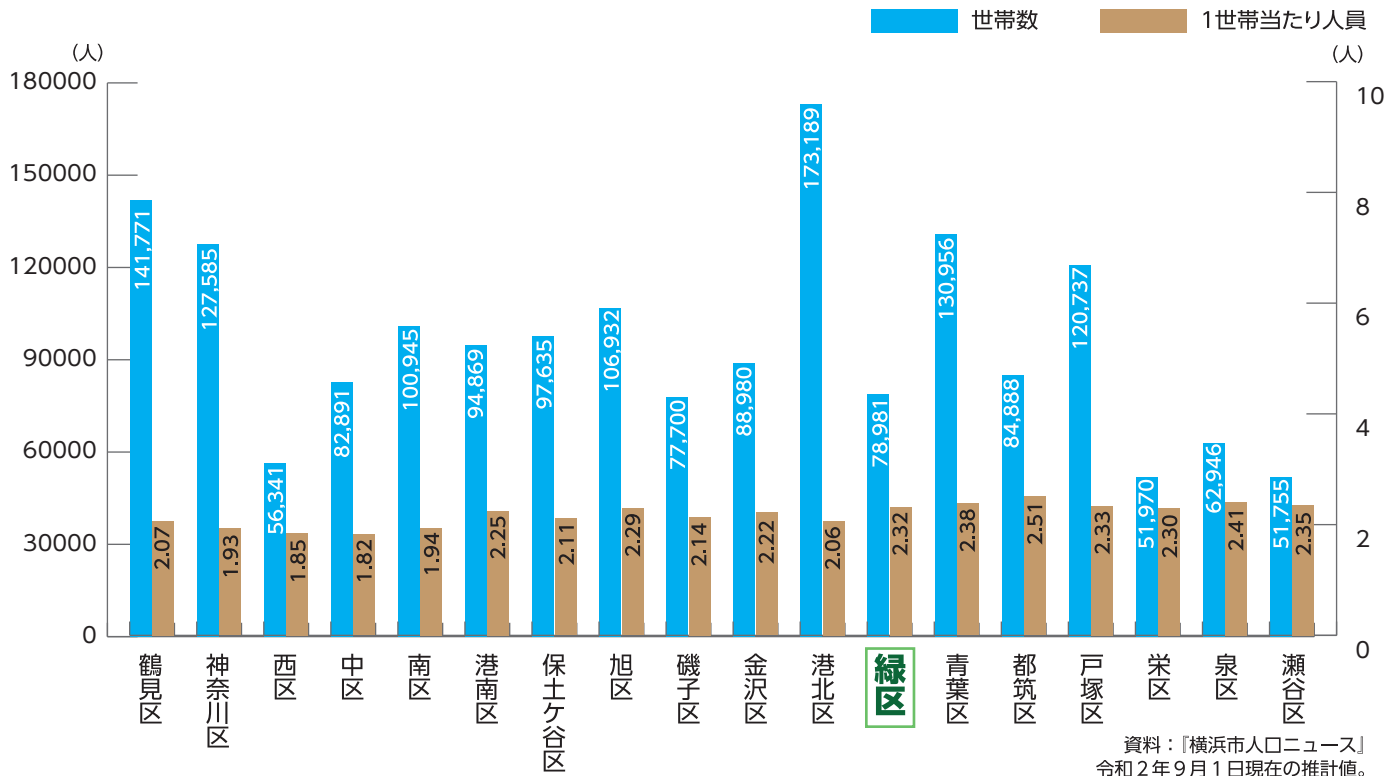
65歳以上世帯員のいる世帯構成割合



資料：『平成27年国勢調査 横浜市結果報告書 結果の解説 第17章』平成27年10月1日現在。施設等の世帯を除く。

※高齡夫婦世帯：夫65歳以上・妻60歳以上の夫婦のみの世帯。

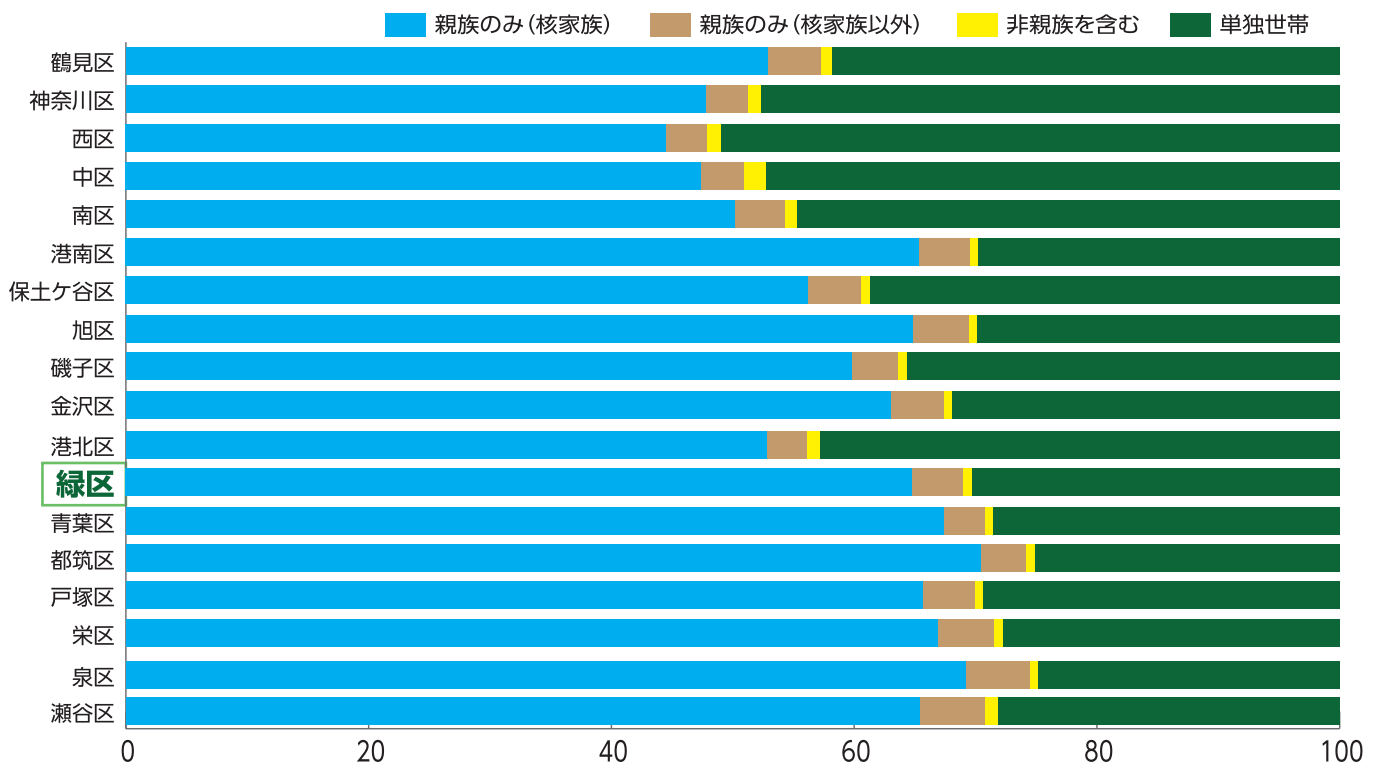
横浜市行政区別世帯数



横浜市全体の世帯数は**1,731,071世帯**、1世帯当たり人員は**2.17人**です。
(令和2年9月1日現在)



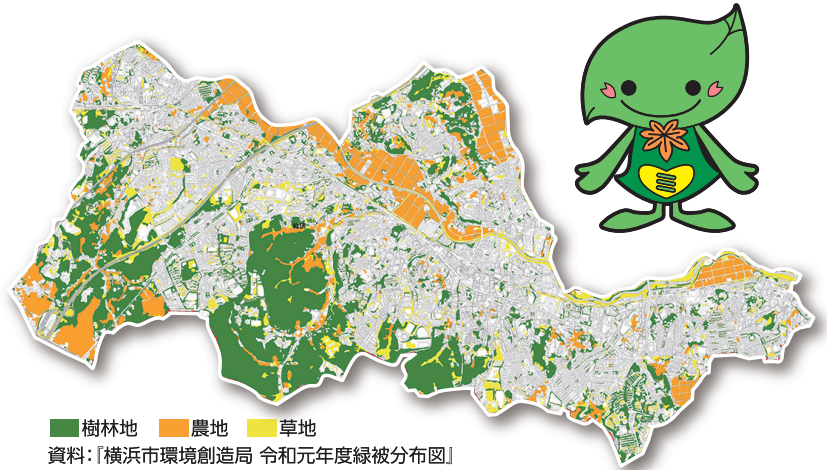
横浜市行政区別・家族類型別世帯割合



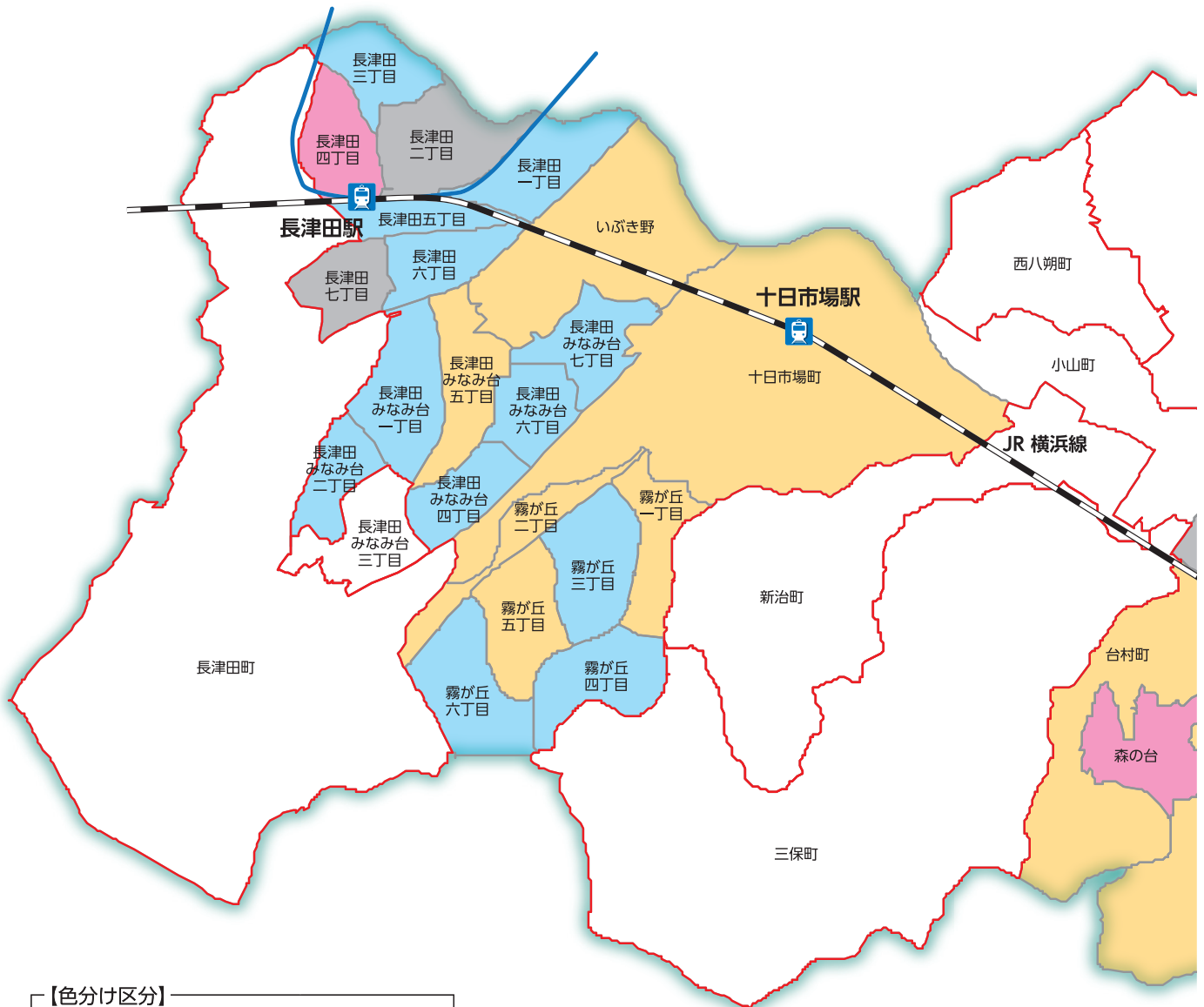
資料：『平成27年国勢調査 世帯構造等基本集計結果 第3表』
平成27年10月1日現在。家族類型不詳の世帯及び施設等の世帯を除く。

町丁別人口・世帯

緑区の人口は、長津田・十日市場・中山・鴨居の鉄道各駅を中心に集中している傾向にあります。一方で、人口密度が低い地域では森林や農地が広がっており、中でも区の中央部に近い三保・新治地区の樹林地は、横浜市内でも最大規模となっています。町区域の変遷としては、平成30年～令和元年にかけて中山町（「寺山町・上山二丁目」の一部を含む）の住居表示が実施され、中山一～六丁目が新設されました。



東急田園都市線・こどもの国線

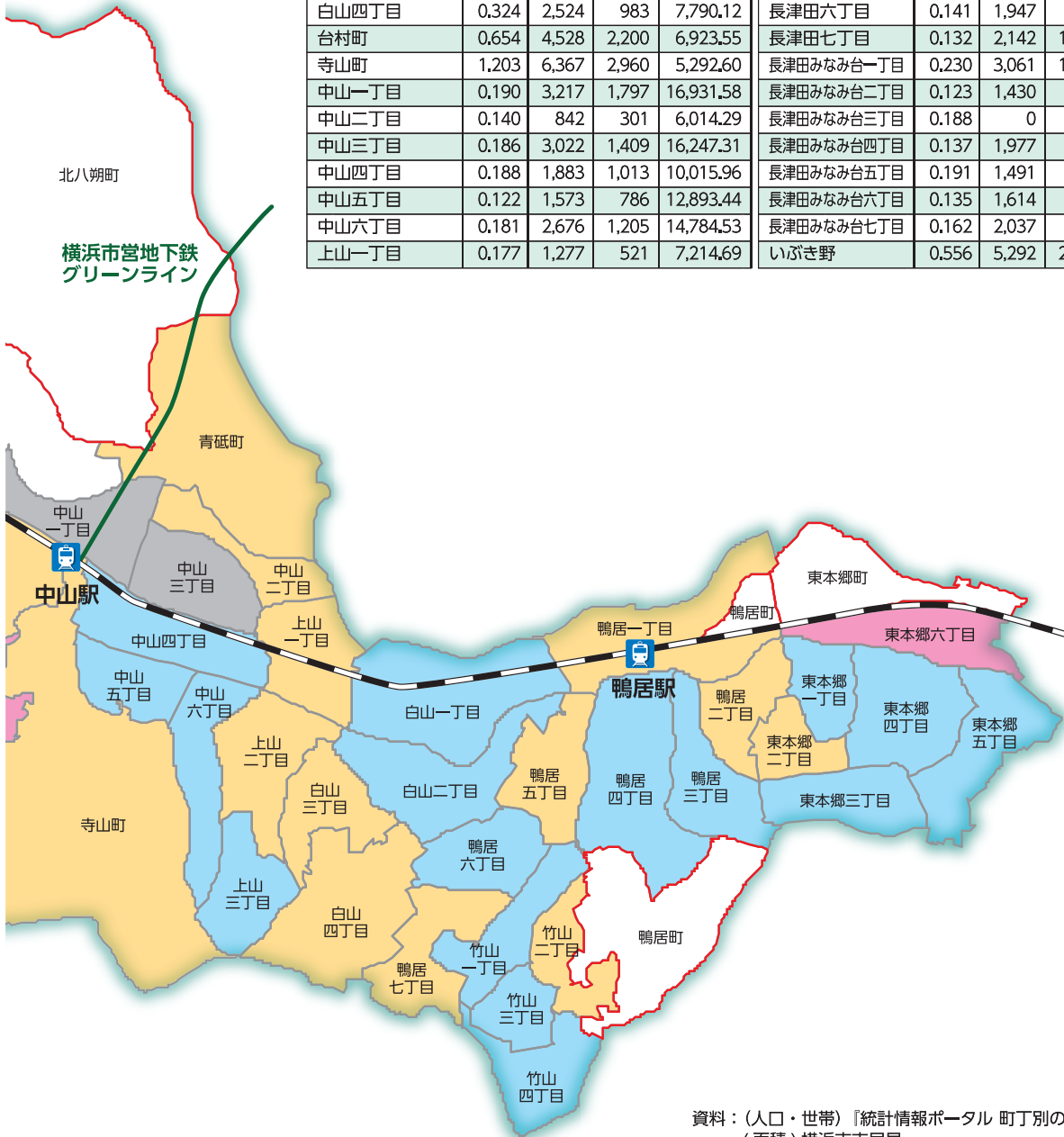


【色分け区分】

- 20,000 以上 (人/km²)
- 15,000 以上 20,000 未満 (人/km²)
- 10,000 以上 15,000 未満 (人/km²)
- 5,000 以上 10,000 未満 (人/km²)
- 5,000 未満 (人/km²)

緑区 町丁別 情報

町丁名	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数	人口密度 (人/km ²)	町丁名	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数	人口密度 (人/km ²)
東本郷町	0.201	25	8	124.38	上山二丁目	0.205	1,770	840	8,634.15
東本郷一丁目	0.106	1,251	576	11,801.89	上山三丁目	0.157	1,859	768	11,840.76
東本郷二丁目	0.096	885	425	9,218.75	森の台	0.218	4,422	1,555	20,284.40
東本郷三丁目	0.162	1,628	738	10,049.38	青砥町	0.523	4,712	2,085	9,009.56
東本郷四丁目	0.231	2,467	1,177	10,679.65	小山町	0.612	776	413	1,267.97
東本郷五丁目	0.211	2,142	998	10,151.66	北八朔町	1.915	8,774	4,174	4,581.72
東本郷六丁目	0.186	4,182	1,862	22,483.87	西八朔町	0.541	2,467	1,079	4,560.07
鴨居町	0.418	1,474	664	3,526.32	三保町	3.217	15,448	6,429	4,801.99
鴨居一丁目	0.310	2,496	1,194	8,051.61	十日市場町	1.593	15,364	7,740	9,644.70
鴨居二丁目	0.133	1,283	568	9,646.62	新治町	1.300	2,598	1,214	1,998.46
鴨居三丁目	0.179	1,826	962	10,201.12	霧が丘一丁目	0.159	1,238	514	7,786.16
鴨居四丁目	0.340	4,621	2,123	13,591.18	霧が丘二丁目	0.138	1,051	500	7,615.94
鴨居五丁目	0.168	1,377	644	8,196.43	霧が丘三丁目	0.215	3,018	1,221	14,037.21
鴨居六丁目	0.161	1,673	724	10,391.30	霧が丘四丁目	0.194	2,267	946	11,685.57
鴨居七丁目	0.184	1,039	510	5,646.74	霧が丘五丁目	0.195	1,771	784	9,082.05
竹山一丁目	0.159	2,027	1,009	12,748.43	霧が丘六丁目	0.231	2,323	1,070	10,056.28
竹山二丁目	0.122	1,211	660	9,926.23	長津田町	3.410	6,761	3,274	1,982.70
竹山三丁目	0.094	1,289	651	13,712.77	長津田一丁目	0.197	2,227	1,041	11,304.57
竹山四丁目	0.160	2,107	1,005	13,168.75	長津田二丁目	0.231	3,926	1,880	16,995.67
白山一丁目	0.355	4,890	2,160	13,774.65	長津田三丁目	0.150	1,748	917	11,653.33
白山二丁目	0.249	2,515	1,108	10,100.40	長津田四丁目	0.165	3,596	1,592	21,793.94
白山三丁目	0.161	1,351	457	8,391.30	長津田五丁目	0.110	1,477	850	13,427.27
白山四丁目	0.324	2,524	983	7,790.12	長津田六丁目	0.141	1,947	999	13,808.51
台村町	0.654	4,528	2,200	6,923.55	長津田七丁目	0.132	2,142	1,018	16,227.27
寺山町	1.203	6,367	2,960	5,292.60	長津田みなみ台一丁目	0.230	3,061	1,271	13,308.70
中山一丁目	0.190	3,217	1,797	16,931.58	長津田みなみ台二丁目	0.123	1,430	486	11,626.02
中山二丁目	0.140	842	301	6,014.29	長津田みなみ台三丁目	0.188	0	0	-
中山三丁目	0.186	3,022	1,409	16,247.31	長津田みなみ台四丁目	0.137	1,977	626	14,430.66
中山四丁目	0.188	1,883	1,013	10,015.96	長津田みなみ台五丁目	0.191	1,491	653	7,806.28
中山五丁目	0.122	1,573	786	12,893.44	長津田みなみ台六丁目	0.135	1,614	583	11,955.56
中山六丁目	0.181	2,676	1,205	14,784.53	長津田みなみ台七丁目	0.162	2,037	894	12,574.07
上山一丁目	0.177	1,277	521	7,214.69	いびき野	0.556	5,292	2,308	9,517.99



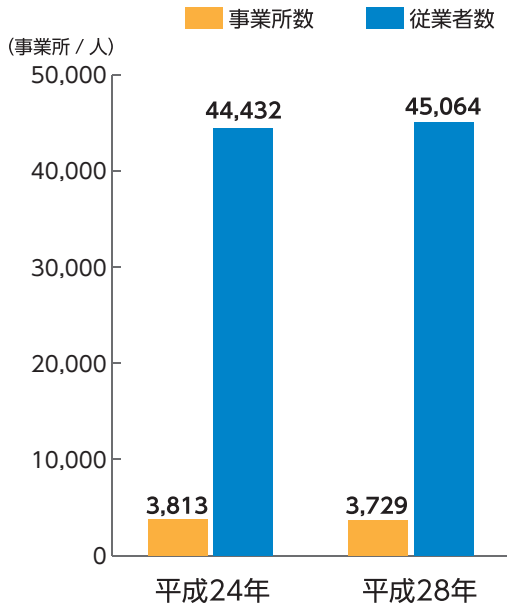
資料：(人口・世帯)『統計情報ポータル 町丁別の人口』
(面積)横浜市市民局
令和2年12月31日現在の住民基本台帳による集計値。



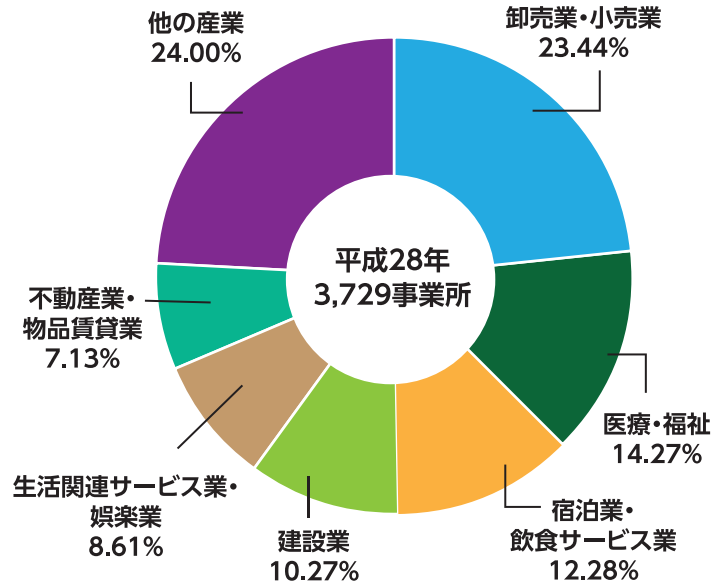
事業所

平成28年の緑区の事業所数は約3,700事業所、従業者数は約45,000人となっています。産業分類別では「卸売業・小売業」が最も多く、全体の2割以上を占めています。平成24年との比較では、「医療・福祉」が事業所・従業者ともに約2割増加しています。

事業所数・従業者数

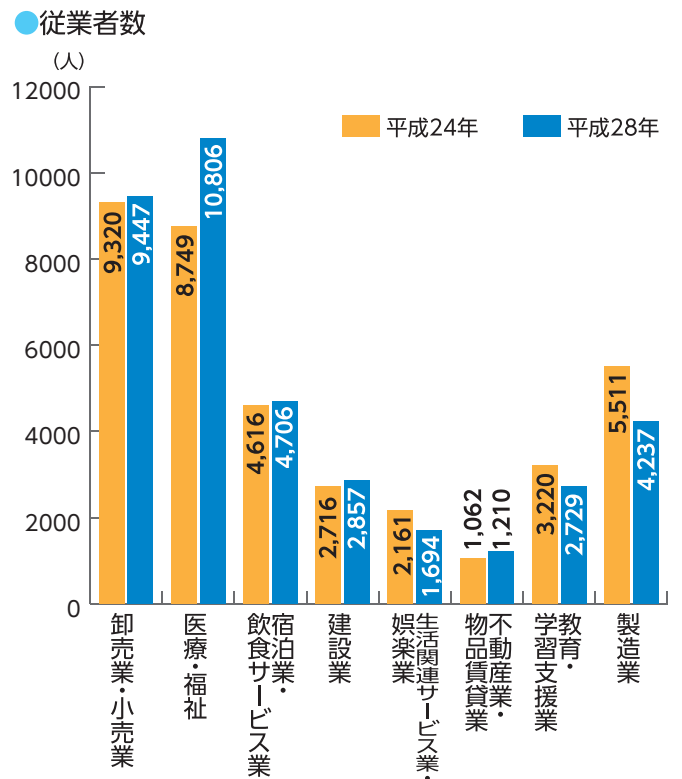
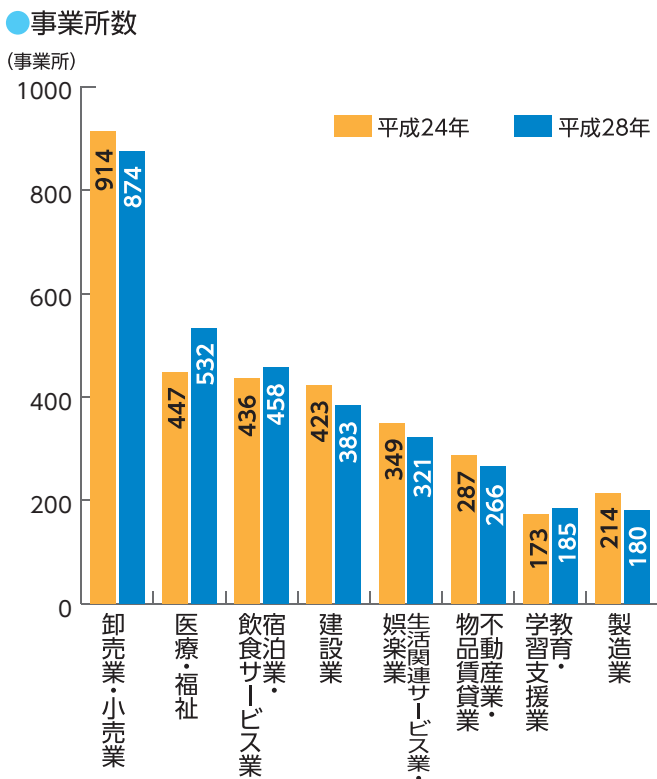


産業分類別事業所割合



資料：『平成28年経済センサス活動調査 統計表1 第2表』
平成24年は2月1日現在。平成28年は6月1日現在。

主な産業分類別事業所数・従業者数



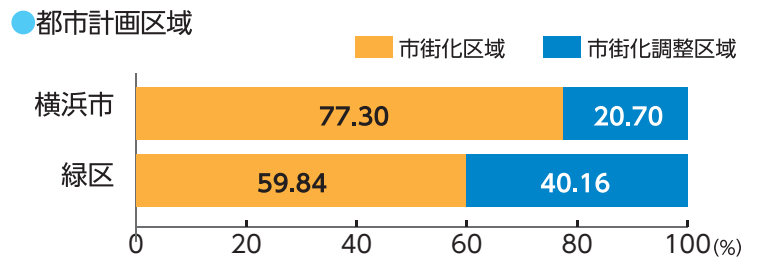
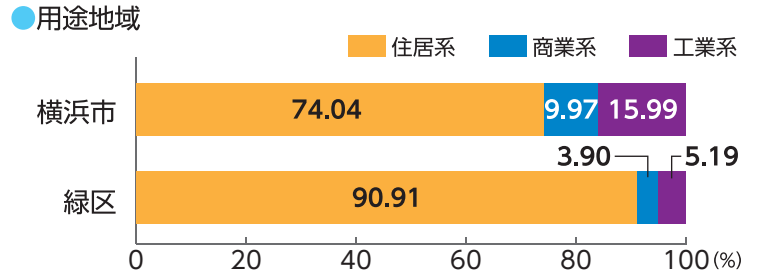
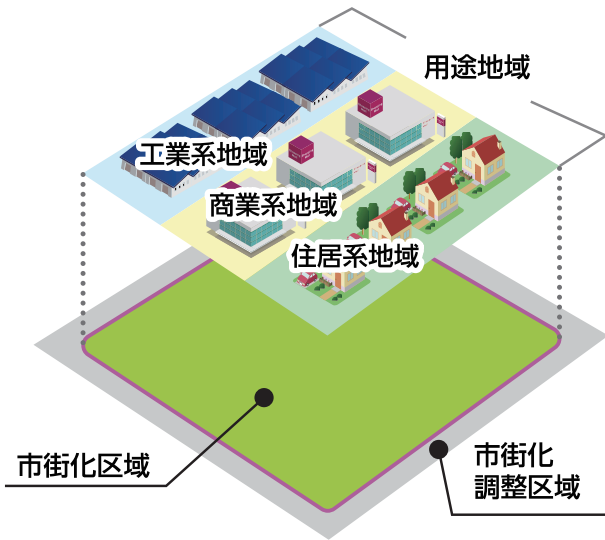
資料：『平成28年経済センサス活動調査 統計表1 第2表』
平成24年は2月1日現在。平成28年は6月1日現在。



土地

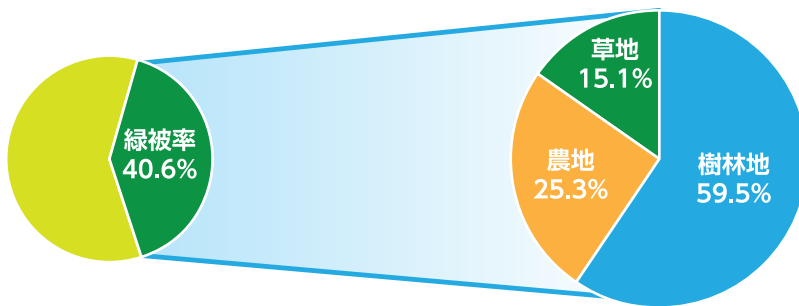
緑区の総面積に対する市街化調整区域の割合は4割を超えており、横浜市全体のおよそ2倍の比率となっています。また、緑被率は平成4年度調査以降、横浜市内の行政区で最も高く、樹林地が緑被地面積の約6割を占めています。

都市計画の状況



資料：『横浜市統計書 第1章 第6表(1)』
令和2年3月31日現在。

緑被状況

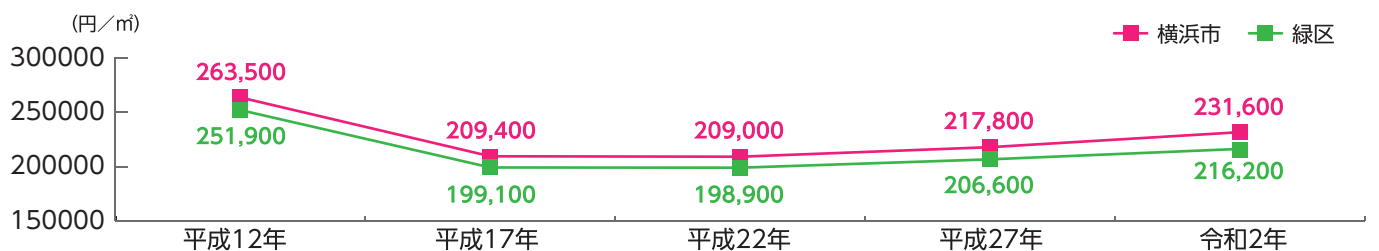


資料：『横浜市環境創造局 令和元年度緑被率の調査結果について』

市街化調整区域割合の高さは
泉区に次いで
市内で2位です。
(令和2年3月31日現在)



住宅地平均価格



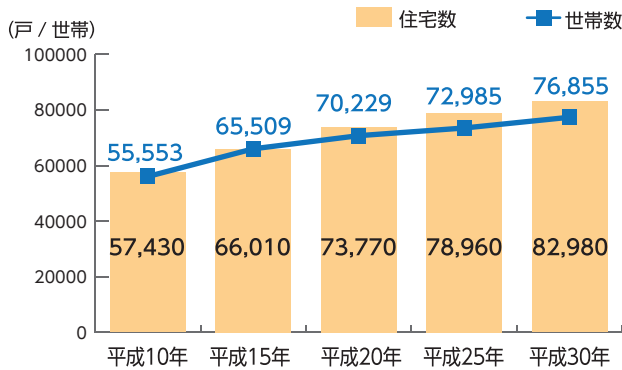
資料：『横浜市統計書 第1章 第7表』
各年1月1日現在。



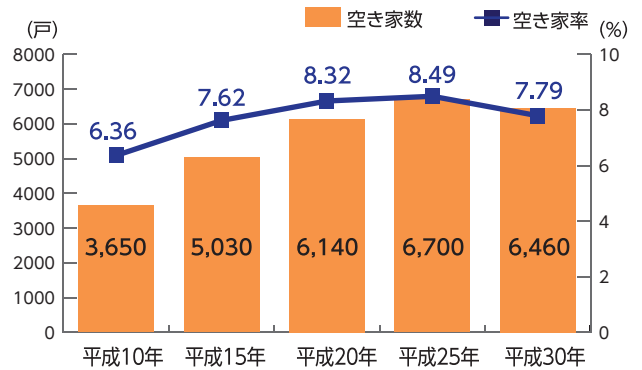
住宅

平成10年からの20年間で、緑区の住宅数は約1.4倍に増えていますが、また、空き家数は約1.8倍に増加し、住宅全体の約8%を占めています。

住宅数の推移



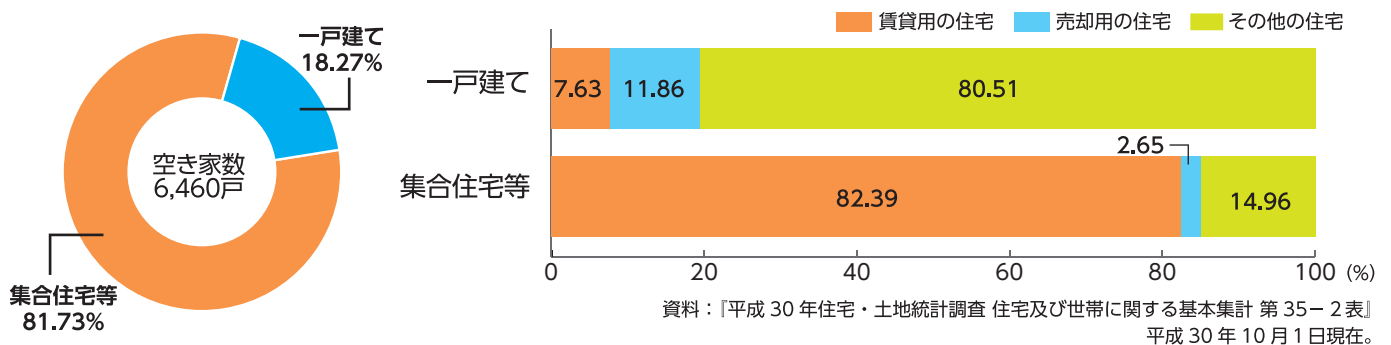
空き家数の推移



資料：(住宅数)『横浜市統計書10章16表』 (世帯数)『横浜市人口ニュース』
住宅数は各年の住宅・土地統計調査結果(10月1日現在)。世帯数は各年の10月1日現在の推計値。

空き家の発生状況

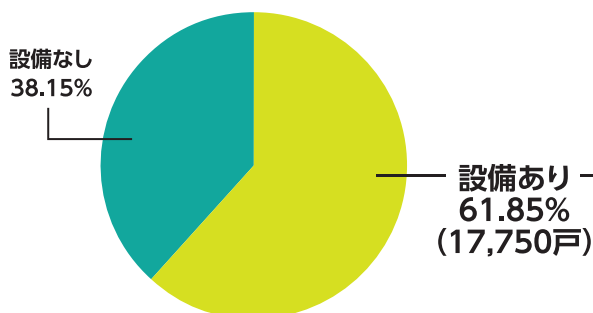
緑区の空き家のおよそ8割は集合住宅等ですが、「賃貸用・売却用以外の空き家」の割合は、一戸建てが集合住宅等の5倍を上回っています。



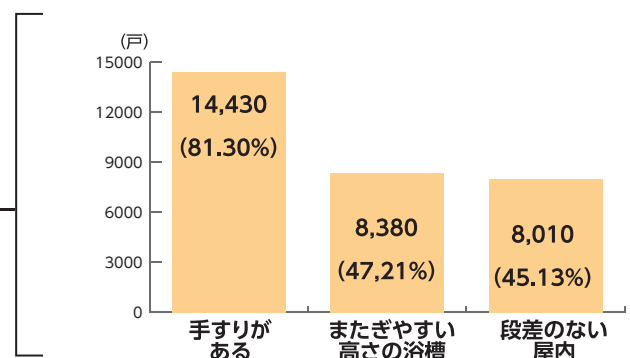
高齢者等のための設備状況

緑区では、65歳以上の方が居住する住宅の約6割で、手すりや段差の緩和・解消など、高齢者等のための設備が設置されています。

65歳以上の方が居住する住宅における高齢者等のための設備状況



高齢者等のための主な設備



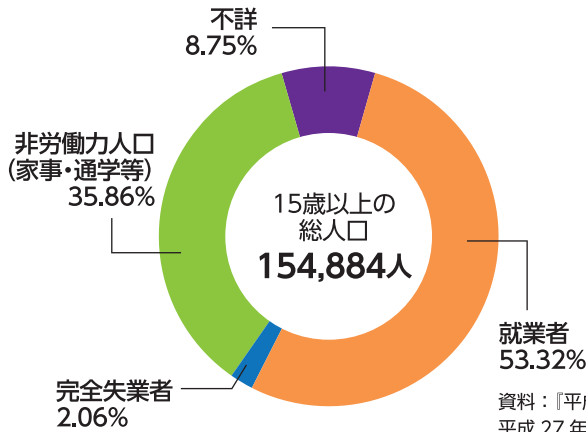
資料：『平成30年住宅・土地統計調査 住宅の構造等に関する集計 第231-4表』
平成30年10月1日現在。店舗等の併用住宅を除く。



労働

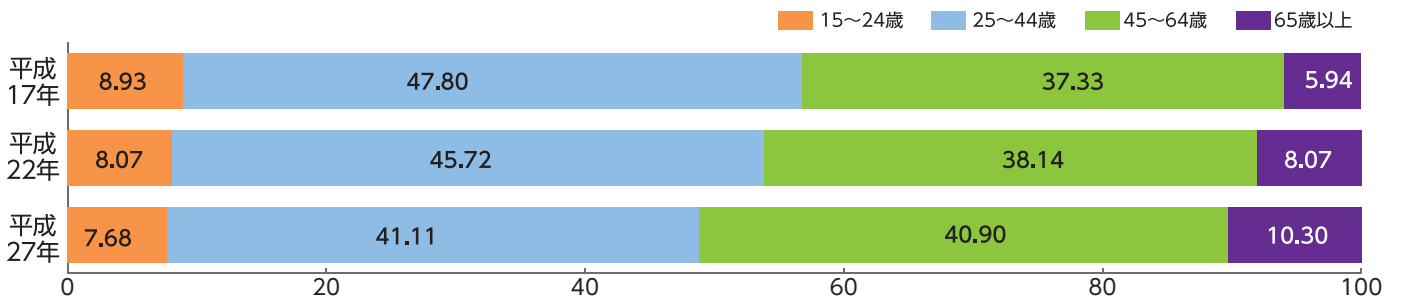
緑区では平成27年現在で、15歳以上の人口の約53%にあたる82,590人が就業状態にあります。また、就業者の年齢構成としては、平成17年からの10年間で65歳以上の割合が約1.7倍に増えており、全体のおよそ1割を占めています。

労働力状態別 15歳以上の人口割合



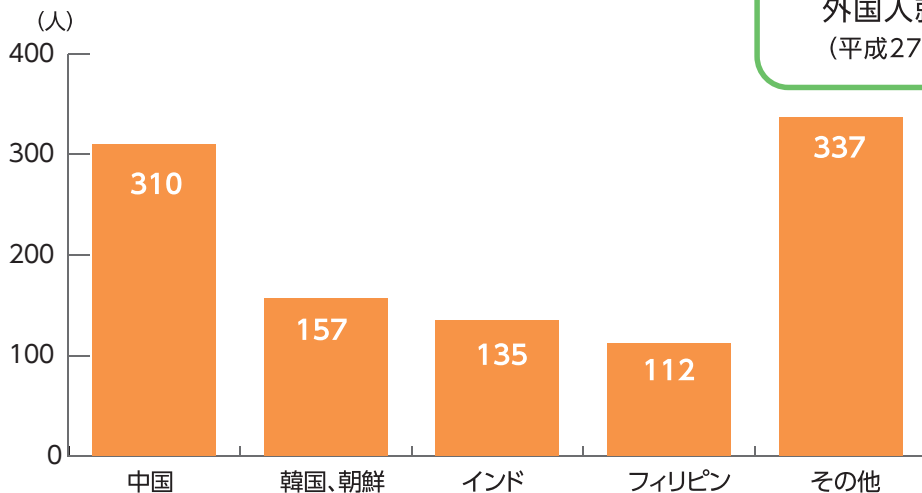
資料：『平成27年国勢調査 就業状態等基本集計結果 第1-3表』平成27年10月1日現在。

就業者の年齢構成



資料：『平成27年国勢調査 就業状態等基本集計結果 第2表』『平成22年国勢調査 産業等基本集計結果第1-2表』『平成17年国勢調査 第2次基本集計結果報告書掲載表 第2表』 各年10月1日現在。

国籍別外国人就業者数



緑区の外国人就業者総数は **1,051人** です (平成27年10月1日現在)



資料：『平成27年国勢調査 就業状態等基本集計結果 第30-3表』平成27年10月1日現在。



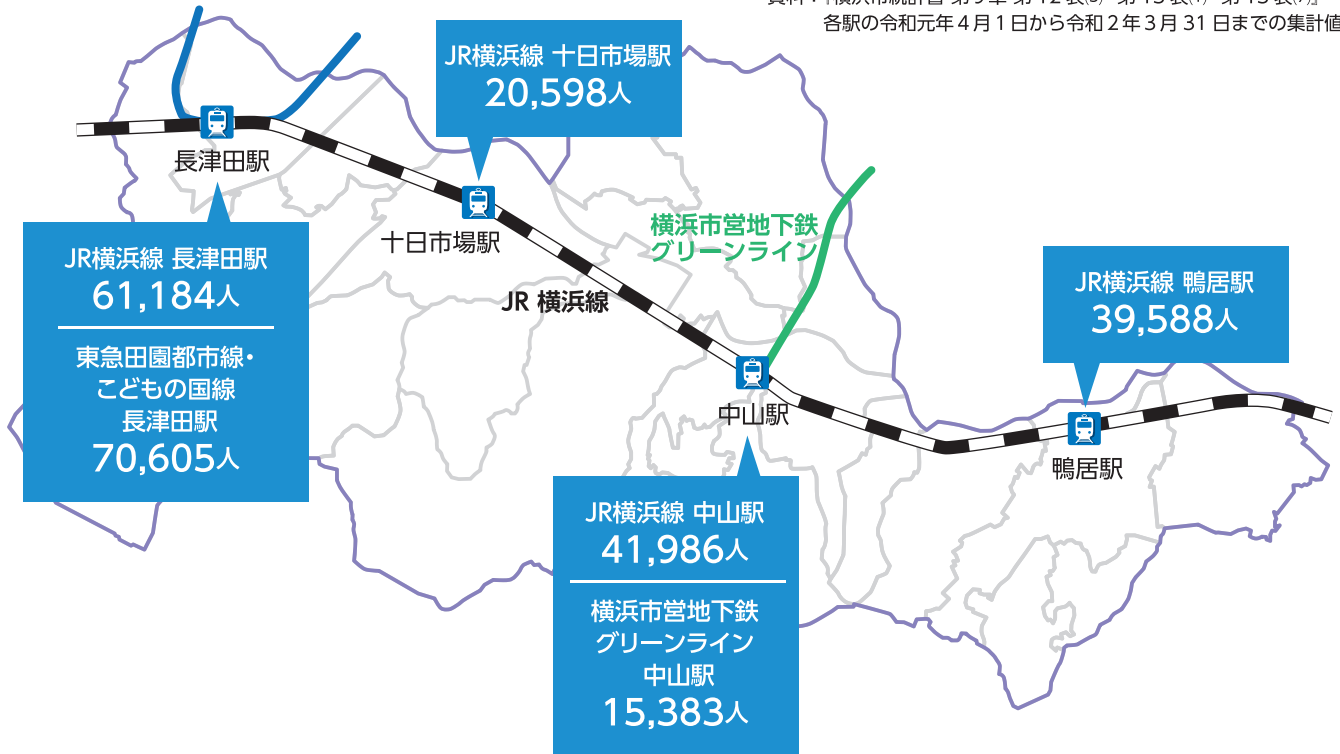
交通

鉄道各駅の1日平均乗車人員

緑区内では毎日、3路線6駅の合計でおよそ25万人が鉄道に乗車しています。1日平均乗車人員が最も多いのは長津田駅（東急田園都市線・こどもの国線）で、全体のおよそ3割を占めています。

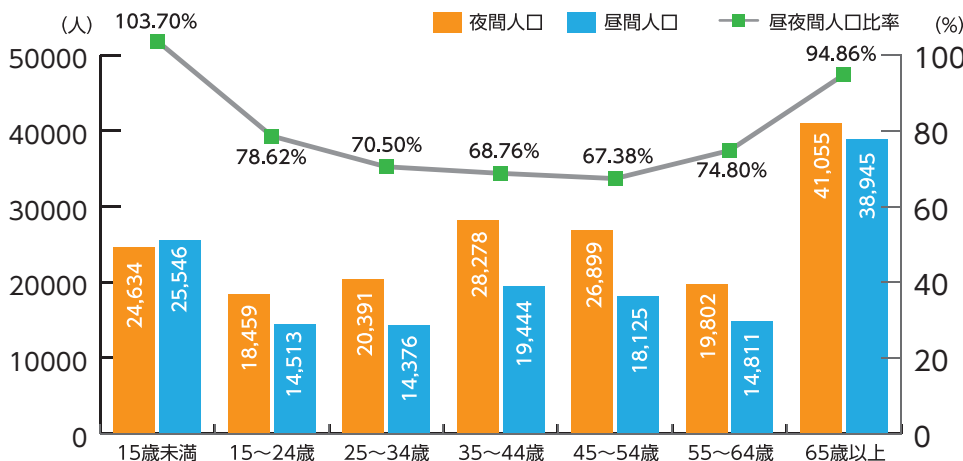
東急田園都市線・こどもの国線

資料：『横浜市統計書 第9章 第12表(3)・第13表(1)・第13表(7)』
各駅の令和元年4月1日から令和2年3月31日までの集計値。



年代別昼夜間人口

緑区では、15歳未満を除く全年代で、就業・通学による区外への人口流出が流入を上回っています。また、昼夜間人口比率が最も低いのは45～54歳で、約67%となっています。



緑区全体の
昼夜間人口比率は
81.28%です
(平成27年10月1日現在)



資料：『平成27年国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等基本集計結果 第2表』
平成27年10月1日現在。

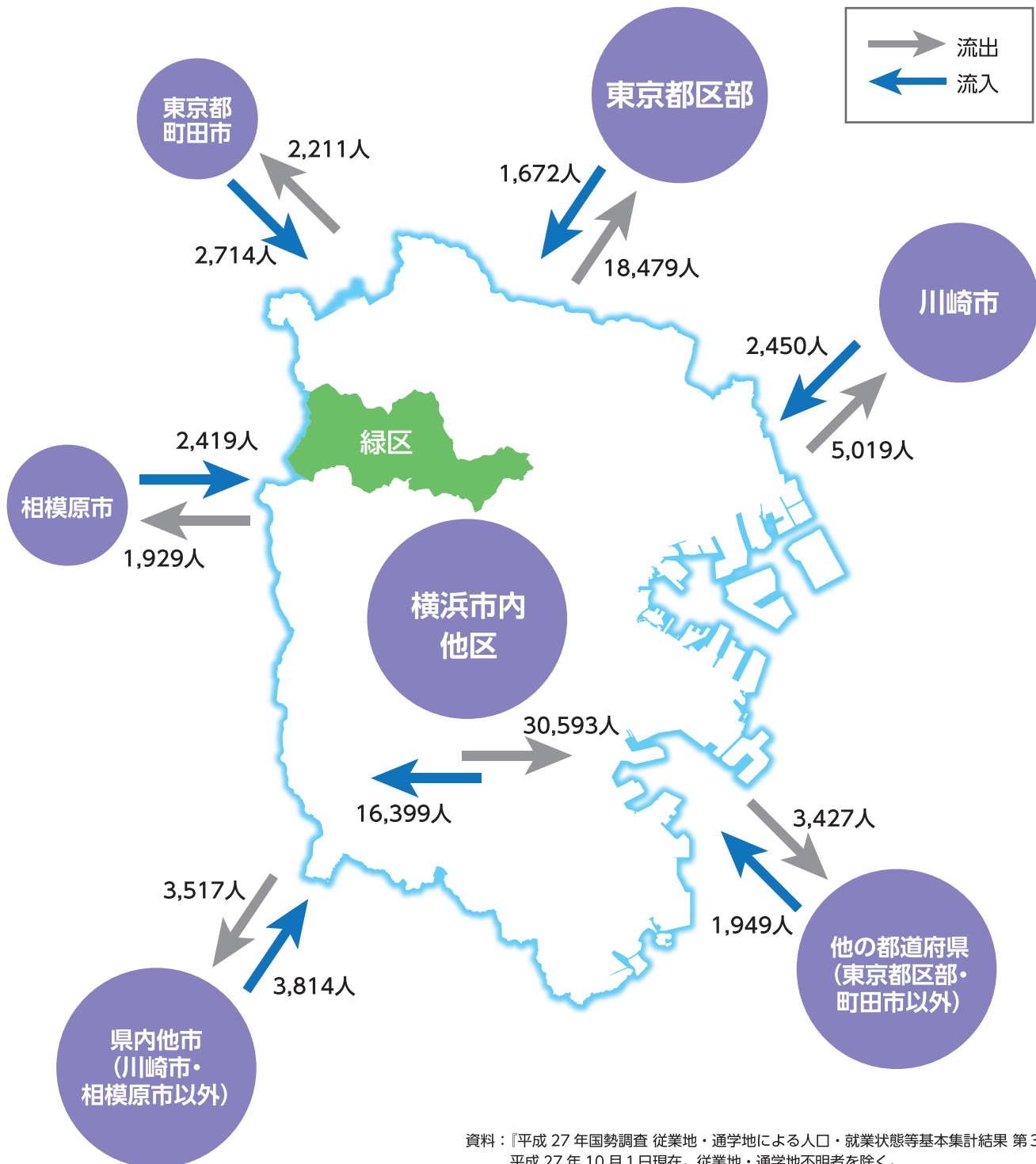
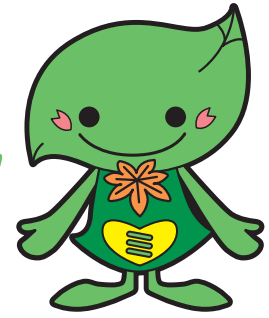
就業・通学による人口移動

緑区の就業・通学による人口移動の状況としては、都筑区・青葉区・港北区をはじめとした横浜市内での移動が約5割を占めています。横浜市内外では、東京都区部・川崎市・東京都町田市・相模原市が主な内訳となっています。

緑区全体における人口の流出入

- 流出人口: 65,175人 (就業: 56,967人、通学8,208人)
- 流入人口: 31,417人 (就業: 23,719人、通学7,698人)

(平成27年10月1日現在)



資料：「平成27年国勢調査 従業地・通学地による人口・就業状態等基本集計結果 第3・4表」
平成27年10月1日現在。従業地・通学地不明者を除く。



選挙

過去の選挙における緑区の投票率は、国政選挙・地方選挙により差があるものの、全体的に下降傾向にあります。また、年齢別の状況としては、若年層を中心に投票率が低く、20歳代と70歳代とでは、倍以上の開きがあります。

過去の選挙における投票率の推移

●衆議院議員総選挙（小選挙区）

選挙期日	緑区投票率	横浜市投票率
H21.08.30	69.02%	68.86%
H24.12.16	60.61%	60.50%
H26.12.14	54.68%	54.06%
H29.10.22	51.32%	51.56%

●参議院議員通常選挙（選挙区）

選挙期日	緑区投票率	横浜市投票率
H22.07.11	56.48%	56.65%
H25.07.21	55.45%	55.54%
H28.07.10	56.68%	56.53%
R元.07.21	49.55%	49.70%

●統一地方選挙（市会）

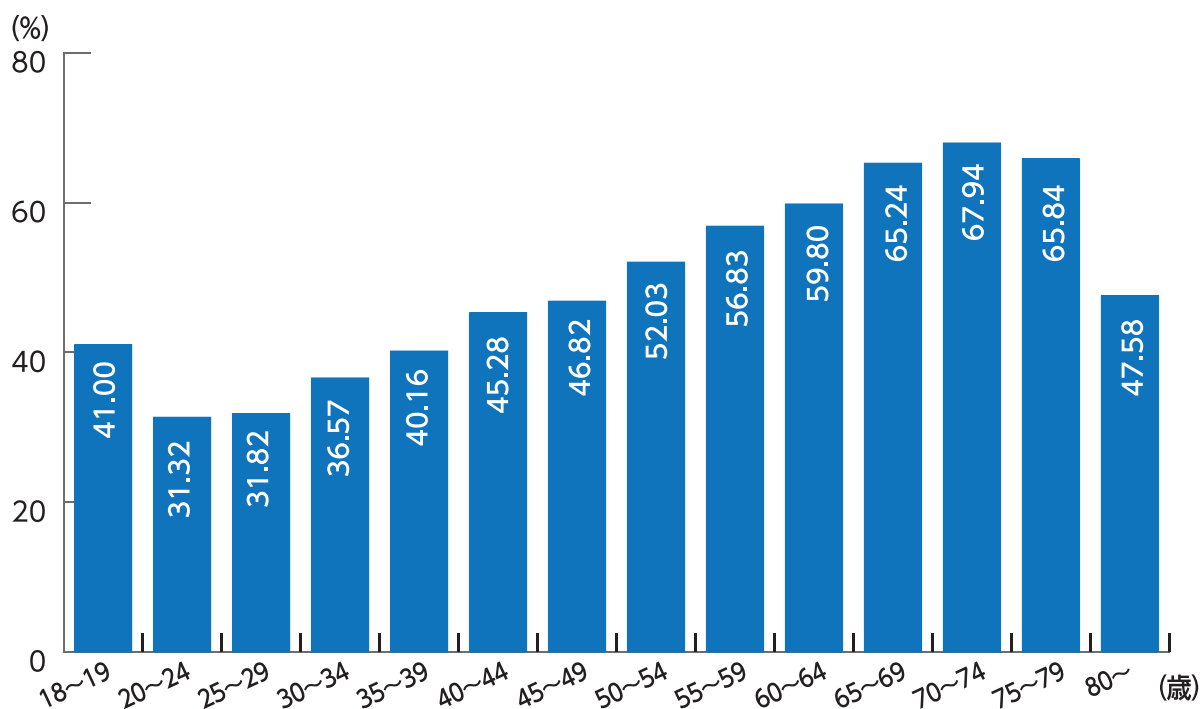
選挙期日	緑区投票率	横浜市投票率
H19.04.08	47.99%	48.20%
H23.04.10	47.63%	46.73%
H27.04.12	44.01%	42.00%
H31.04.07	43.09%	42.48%

●横浜市長選挙

選挙期日	緑区投票率	横浜市投票率
H18.03.26	34.60%	35.30%
H21.08.30	68.91%	68.76%
H25.08.25	28.88%	29.05%
H29.07.30	38.92%	37.21%

資料：『横浜市統計書 第20章 第2表(1)・第4表(1)・第5表・第6表(1)』

直近の選挙における年代別投票率



資料：緑区選挙管理委員会
令和元年7月21日執行 参議院議員通常選挙（選挙区）。在外投票を除く。



統計調査に従事いただける方を募集しています

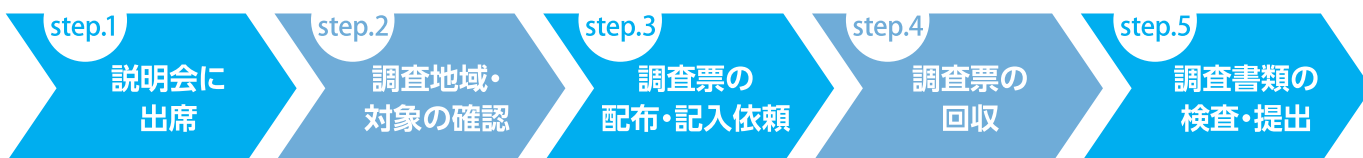
緑区では、統計に関する理解と熱意を持って、国や県が実施する統計調査の調査員として従事いただける方を募集しています。

統計調査員について

1 身分・待遇

- 調査期間中は、国や県が任命する非常勤の公務員となります。
- 調査で知り得た内容を外部に漏らすことは、法律で固く禁じられています。
- 調査活動中の事故は、公務災害補償の対象となります。
- 調査活動に従事した対価として、報酬が支払われます。

2 仕事内容



※ 調査によって多少異なりますが、おおむね上記のとおりとなります。

3 要件

- 年齢が満 20 歳以上の方
- 責任を持って統計調査事務を遂行できる方
- 秘密の保護を遵守できる方
- 税務、警察および選挙に直接関係のない方
- 暴力団員または暴力団密接関係者でない方
- その他調査活動に支障のない方

主な統計調査

緑区から調査員を推薦している主な統計調査のご紹介です。

調査名	所管省庁	調査対象	次回予定期日
国勢調査	総務省	世帯	2025年10月1日
経済センサスー基礎調査	総務省	事業所	2024年(期日未定)
経済センサスー活動調査	総務省/経済産業省	事業所	2021年6月1日
住宅・土地統計調査	総務省	住宅等(世帯)	2023年10月1日
就業構造基本調査	総務省	世帯	2022年10月1日
全国家計構造調査	総務省	世帯	2024年10月~11月

お申込み

統計調査の仕事を希望される方は、緑区総務課統計選挙係に御連絡ください。お申込みいただいた方には、各種統計調査を実施する際に改めて御意向を確認させていただきます。

お問合せ先

電話:045-930-2212 FAX:045-930-2209
メール:md-senkyo@city.yokohama.jp





区の木「カエデ」・区の花「シラン」は、平成6年11月の行政区再編成を機に制定されました。それぞれ、区役所入口の脇にも植えられています。



発行者： 緑区総務課統計選挙係
TEL.045-930-2212
FAX.045-930-2209
〒226-0013
横浜市緑区寺山町 118 番地
発行： 令和3年3月